

## 公立小中一貫教育への取り組み

### 「和泉の学び」小川教育長の熱い思い



私は、中学校で社会科を教えています。「それぞれ違う環境にある子どもたち一人ひとりの育ちと学びを支援し、義務教育9年間、責任を持って子どもたちを育てたい」と強く感じ、小中一貫教育に取り組みはじめたわけです。9年間にビジョンある一貫性を持たせるには、小中教職員が相互理解、連携を深め、継続・連続した学習指導を行うことは不可欠です。

和泉市ではH29年から市内全域で本格実施し、現在は、さらに発展させた《保幼小中一貫教育》をめざしています。現在、市内には10中学校区あり、それぞれ良き特色に恵まれる一方、課題もあります。意欲的に学び、これからの時代をたくましく生き抜く人材を育成するため、学校では授業改善を進めています。取組みの一環として、豊かな心を育む「道徳科の授業」を地域に公開していますので

どうぞ、学校にお越しいただき、子どもたちの様子をみてやってください。子どもたちが、地域の人々と寄り添い、交流を深めることは、育ちの大きな支援となるのはもちろん、防災の面からも地域の自助力を高めることに繋がると考えます。学校・保護者・地域の人々が一つになって世の中の課題と向き合い、未来へ大きく羽ばたく「和泉の子どもたち」をあたたく育てていきましよう。